



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『死者の中から復活するときには、めとることもなく嫁くこともなく、天使のようになるのだ』

聖書(マルコ福音書 12章 25節)

牧師 河合裕志

ユダヤ教の一派にサドカイ派があった。彼らはエルサレムの神殿を中心に勢力を持つ祭司階級の人々。彼らは聖書(この場合は旧約聖書)の中では創世記を始めとする五つの書(「モーセ五書」)のみを権威あるものとした。

また彼らは復活とか天使とか霊なるものは存在しないと主張。この点では私達現代人に近いのでは? 今日多くの人々はそんなものはないと思っている。

ところでイエスはそうしたものの存在を信じていた。そこでサドカイ派の人々がイエスのところにやって来て質問をふっかける。それは以下の理由で復活なんてないでしょ、というものだった。「モーセは定めている。『ある人の兄が死に、妻を後に残して子がない場合、その弟は兄嫁と結婚して、兄の跡継ぎをもうけねばならない』(申命記 25章) と。ところで七人の兄弟がいた。長男が妻を迎えたが跡継ぎを残さないで死んだ。そこで次男がその女を妻にしたがやはり跡継ぎを残さずに死んだ。以下七人ともそうなり最後に女も死んだ。もし復活があるとすると女は誰の妻になるか」。

これは難問。妻の争奪戦になりかねない。だから復活なんてばかげたことはないんだと

彼らはイエスをやりこめようとした。さあイエス、何と答える?

イエスはやれやれと思いつつ丁寧に答えようとする。『あなたたちは聖書も神の力も知らないから、そんな思い違いをしている』。確かに聖書中には復活を思わせるような箇所がダニエル書 12章 2節等いくつか見られる。また神の全能の力を信じるなら死者を復活させることは容易なことと受けとめられる。

またイエスは復活の姿は天使のようになるとした。地上でもっていた肉体のレベルを越えた天的な在り方とする。パウロ流に言えばそれはもはや朽ちないもの、輝かしいもの。私達はいずれ死を境として神の大能の力により復活させて頂き天使のようになり天国に住むものとされる、これって素晴らしい。

更にイエスは『神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ』と断言。これはこう言うこと～あなたたちは先祖アブラハムは遠い昔に死んで死んだままとと思っている。ところがそうではない。彼は復活に与り今も天にあって生きている。神は依然として生きているアブラハムの神なのだよ。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時